

AM/FM/短波ラジオ用 受信ブースター 取り扱い説明書

このたびは、受信ブースターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

■製品の説明

・本体正面パネル

本体正面には、ミニジャック、通電ランプ、ツマミがあります。

本体正面のミニジャックには、ループアンテナや屋外アンテナからのケーブルを取り付けます。高入力インピーダンスですが、ループアンテナをご使用の場合は2次巻き線(ピックアップコイル)に接続してください。

通電ランプは、電源電圧に応じて明るさが変わります。電池でお使いの場合には、電池残量の目安にしてください。

ツマミは、電源スイッチとゲイン調整を兼ねています。反時計方向に回しきると、電源 OFF です。OFF→ONになる位置で、最大ゲインです。さらに時計方向にまわすと、ゲインが下がります。

ラジオは過大入力があると、音に歪みが現れたり、無音になった直後に耳障りなノイズが一瞬出るなどします。この場合に、ツマミで適正な入力レベルに調整します。また同調型ループアンテナでは、ゲインを下げると同調点がよくわかるようになります。

・本体背面パネル

本体背面には、ミニジャック、RCA ピンプラグ、電源ジャックがあります。

本体背面のミニジャックには、AMラジオ用カプラを取り付けます。このミニジャックでは、50Ωの同軸ケーブルが駆動できます。ループアンテナご使用時には、アンテナと受信ブースターを短いケーブルで接続し、窓際などに置きます。そうしてこのミニジャックから、同軸ケーブルでラジオのところまで受信波を伝送し、カプラで電波に戻して、これをラジオで受信します。

屋外アンテナの場合は、受信ブースターはラジオのそばに置けますから、このミニジャックにカプラを直接取り付けることも出来ます。もちろん、同軸ケーブルを介してカプラを接続することも出来ます。

RCA ピンプラグには、FM/短波共用カプラを直接取り付けます。この端子で同軸ケーブルは、駆動できませんのでご注意ください。

電源ジャックには、ACアダプタや電池を接続します。DCジャックは中心電極がプラス極で、中心電極の直径が2.1mm、外周電極の直径が5.5mmです。ACアダプタ(AC→DC)には、必ず「トランス式」をご利用ください。他に「スイッチング式」がありますが、雑音がひどくお使いになれません。電圧は6～15Vの範囲でお使いいただけますが、軽負荷時にACアダプタ出力電圧が高くなることを考慮すれば、6VのACアダプタをお勧めします。なお、一般にトランス式ACアダプタは、待機電力が4ワットのように比較的大きいからです(ブースター本体の消費電力は、約0.1ワットです)、使わないときはコンセントから抜くことをお勧めします。

電池でお使いの場合に電池交換の際には、電源ジャックから抜いて行ってください。逆方向の電圧を防止するためです。

■ AMラジオ用カプラ

AMラジオ用カプラは、ラジオを縦方向にしぼるように取り付けます。カプラのループにラジオを通して、ループがラジオにフィットするように留め具でしぼって固定します。

カプラの取り付け位置が、ラジオの右寄り・左寄りで感度に違いが出ることがあります。感度のよいほうでお使いください。またカプラのチューブ内には電線が通っており、押しつぶすような重いものは載せないでください。

■ FM／短波ラジオ用カプラ

FM／短波共用カプラは、アルミ箔やクリップのようなものをロッドアンテナに取り付け、それをカプラのワニロクリップで挟むようにします。直接ワニロクリップでロッドアンテナをはさむと、ロッドアンテナに傷がつきます。

リード線は赤・黒の2本で、いずれか一方をロッドアンテナに、他方は置き場所によって感度に違いが出ることがありますので、よい場所を探してお使いください。赤・黒のリードを入れ替えると、感度が変わることがあります。感度の良いほうを選んでお使いください。

■ 設計・製作

故障などは、下記までお問い合わせください。なお回路図などの生産資料は、開示いたしておりません。ご了承ください。領収書日付の7日後より12ヶ月間を、初期故障を対象にした無償種修理期間とさせていただきます。領収書の保存をお願い申し上げます。部品の磨耗や破損などに対する修理は、有償とさせていただきます。

〒215-0017 神奈川県 川崎市 麻生区 王禅寺西5-3-5-302

電話&FAX 044-989-4317

電子メール mkatsube@juno.dti.ne.jp

勝部 雅稔 (かつべ まさとし)